



## 第3回 10/12 奥山 瞳氏（株式会社ウイル代表取締役） 「女性起業家と地域産業の活性化について」

### ■プロフィール

武蔵野美術大学卒業。90年、有限会社オフィス・ウイルを設立(現・株式会社ウイル)。代表取締役。出版物やホームページを企画制作。97年女性経営者異業種交流会「TES」発足。00年そのメンバーの共同出資によるコンサルタント会社、有限会社イーテスを設立(現・株式会社イーテス)。取締役。04年、キャリア・コンサルタント取得。06年合同会社キャリアサポートセンター設立。08年法政大学大学院修士課程入学。静岡大学大学院客員教授就任。地域高度化研究会有限責任事業組合(RARA)設立。



### ■起業のきっかけ

サラリーマンなどの一般的な家庭に育たなかつたこと。経営や法律、芸術の入り混じった日常会話が自分を形成していたと思う。美大を卒業したものの、芸術で「飯を食う」感じがしなかつた。父親との会話から、雇用されるだけが仕事ではなく、雇用する側も仕事であると考え始める。

### ■問題意識を持とう！それがビジネスに。

普段何気なく生活している空間を見渡し、問題を発見し分析していく。地域の課題を解決していくことが、ビジネスにつながる。起業20年間で学んだことである。

### ■では、地域とは何か？

地域は、自然地域（地形や気候といった要素で規定された概念）と社会地域（そこで暮らす人間の営みによって規定される概念）とに分けられる。そしてそこには、地域資源（地域ブランド）が存在する。それは製品のみではなく、その製品を生み出す技術、産業もブランドとなりえるのである。地域の持続的発展を考える上で、地域資源をいかに活用するかが重要な鍵となる。それには地域資源の種類や性格を見極め、行政のみではなく、そこに住んでいる人の力で管理発展させなければならない。なぜなら、少子高齢化で人口オーナス（負荷）の時代になってしまったからである。

### ■地域の資源

地域の最大の資源は人材である。地元基盤産業を回復し発展させるのも、地域の問題を解決していくのも人である。地域の課題を解決するためには知恵と人材が必要なのである。

### ■地域における女性起業家の役割

女性経営者は、子育てや活動を通して地域との距離が近い。地域と調和することによって産業を創造することができる。地域と産業を「橋渡し」する役割を担い、行政マン任せではない地域問題を考え、地域を活性化する。

### ■質疑応答

Q. 人材育成に大切なことは？

A. 産・官・学の連携。人材育成のプログラムの作成。若者だけでなく高齢者の育成も可能。

そのためにはキーパーソンが必要。

Q. 地域資源を生かすために苦労したこと。

A. 資本金集めに係わり、事業計画書の作成、プレゼンテーション能力の重要性など痛感した。